

007

特別支援学校だからこそできる、地域における緊急避難場所設置

取組主体

大阪府立富田林支援学校

教職員数

想定災害

実施地域

約 200 人

地震

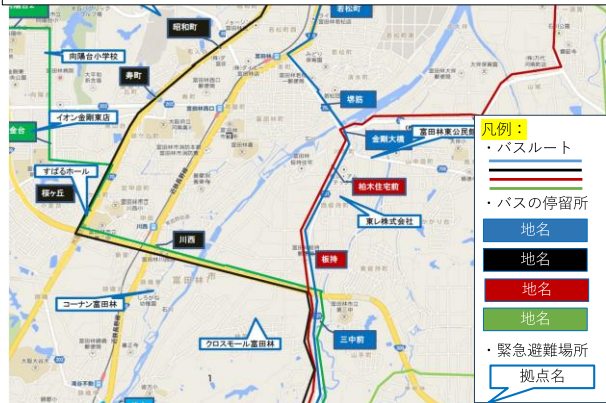
大阪府

特別支援学校の通学バスルート上に緊急避難場所を設置し、障害のある子どもたちの安全を確保する取組を通じて、自治体や民間企業と連携した地域の防災体制強化に取り組んでいる。

1 取組の概要

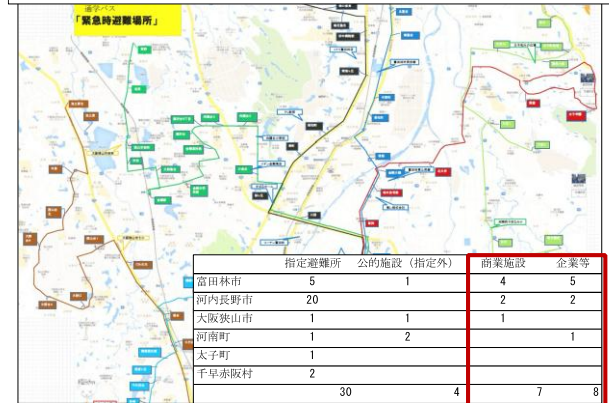
- ・大阪府立富田林支援学校では障害のある児童生徒を登下校中の災害から守るため、特別支援学校の事業継続計画（以下、特別支援 BCP）を検討し、複数の通学バスルート上に緊急避難場所を設置した。
- ・本取組は、教育委員会や危機管理部局などの自治体部署、緊急避難場所となりうる場所・施設を保有する学校・自治会・商業施設など地域の様々な主体と連携した取組である。

府立富田林支援学校バスルート上の緊急避難場所一覧
学校の事業継続計画より2020.7.31



避難経路一覧

府立富田林支援学校バスルート上の緊急避難場所一覧
学校の事業継続計画より2020.7.31



避難場所一覧

2 取組のきっかけと想い

- ・大阪府教育庁は、学校安全総合支援事業の一環として、防災専門家によるアドバイザー派遣事業を実施しており、府立・私立高校だけでなく、毎年 6、7 校の特別支援学校においても本事業を展開している。同学校では、2019 年度から本アドバイザー派遣事業を活用し、特別支援 BCP の策定と防災関連計画の整備に取り組んできた。
- ・府内の多くの特別支援学校は府立であり、その校区は複数の市区町村にまたがり広域となっている。児童生徒の多くは通学バスで登下校し、自宅から学校まで 1 時間ほどかかる場合も少なくない。2018 年に発生した大阪府北部地震は通勤・通学時間帯の都市部を襲い、同校においても保護者は通学バスを利用した登校をすべきか否かに悩み、登校後も公共交通機関の停止により長時間をかけて学校へ子どもを迎えに行く事態となった。このような経緯から、特別支援 BCP を策定した。それをもとに、複数の通学バスルート上に緊急避難場所を設置することを決定し、立地の課題に向き合いながら、通学ルート上の避難場所の検討を開始した。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

通学ルート上の課題に焦点を当てた取組

- ・学校防災における焦点を通学バスルート上の課題に定め、取組を進めた。本取組は、通学バス運行中における防災対策のため、時間帯や実施場所、関係者が限定されており、訓練も実施しやすく、他の特別支援学校でも導入しやすい。

多様な主体との連携と協働

- ・具体的な緊急避難場所の検討に当たっては、学校敷地内に土砂災害特別警戒区域があること、また、学校と周辺地域

国土強靱化

が 1960 年代に建設され、老朽化して崩落のリスクがある 2 つの橋で結ばれていることなど、立地の課題を考慮する必要があった。そこで同校は、まず校区内の 3 市 2 町 1 村の教育委員会と危機管理部局に協力を依頼し、通学バス（定員 37 人）が緊急避難できる場所の候補地を挙げてもらった。

- ・避難場所の確保に当たっても、他の学校・園や自治会、行政部署と連携しながら検討を進め、学校長らが特別支援 BCP を持って全ての緊急避難場所を訪問するなどの取組を行ったことにより、最終的に 40 か所以上の避難場所の確保につながった。
- ・行政の指定避難場所だけでなく商業施設や民間企業とも連携し、全避難場所の 3 割以上が商業施設や民間企業からの協力により提供された形となった。大阪府教育庁が実施する事業（学校防災アドバイザー派遣事業）という公的な事業が介在することで、企業や地域行政機関に安心感を与え、協働が促進されている。

4 取組の効果

民間による積極的な協力体制の構築

- ・地域の商業施設や民間企業からは避難場所の提供だけでなく、障害のある児童生徒のために何が必要かという積極的な問いかけもあり、予想以上に好意的に受け入れられた。このような通学区域の市町村、商業施設や民間企業と連携することで、地域全体で「みんなで助かろう！」という体制を築くことができた。

障害理解と地域共生へのアプローチ

- ・特別支援 BCP を地域で共有することにより、各児童生徒の障害特性に応じた準備が検討され、広域な通学範囲の緊急避難場所を中心として福祉と防災の対策促進が期待される。さらに、地域の多様な主体と協働することで、防災対策の充実だけではなく、障害への理解を深め、誰もが共に暮らせる地域共生社会の実現につながると考えている。

担当者の声

- ・大規模災害時に何が起こるのかを具体的に想定し、そのとき取る行動を準備することが安全・安心のために重要だと感じています。
- ・児童生徒が通学バスに乗っているときに災害が起こった場合、命を守る行動を取った後に続く次の一手、二手を想定し、地域や保護者と情報共有して一緒に考えることで、安全・安心を広げることができると考えています。
- ・同校では 2019 年以来、毎年、各緊急避難場所に連絡し災害時の使用可否を確認し、年に 2 回の公開訓練も実施しています。先生方の「児童生徒のあるがままを受け入れる」姿勢が、地域協働を推し進める原動力となっています。誰もが大切にされる社会を実現するために、今後も取り組んでいきたいと思っています。

問合せ先	動画	サイト URL
大阪府教育庁教育振興室保健体育課 電話番号：06-6944-9365 FAX：06-6941-4815 E-Mail：hotai_hoken@gbox.pref.osaka.lg.jp URL：https://www.pref.osaka.lg.jp/soshikikarasagasu/hokentaiku/index.html	—	